



ふくちやまし

議会だよ!

No.29

平成11年11月1日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111



広小路に移動したSLは子どもたちに大人気

9月定例市議会の概要

9月定例市議会は9月8日から29日までの22日にわたって開かれた。この議会では13億8、400万円余の11年度一般会計補正予算など13議案をいずれも原案どおり可決、「10年度決算の認定」2議案を、17日に設置した決算審査特別委員会で継続審査することとした。

請願は6件提出され、うち2件を採択、1件を不採択、3件を継続審査とした。また「舞鶴海洋気象台の陸上予報業務の継続を求める意見書」など3件の意見書を可決、関係機関に送付した。

◆補正予算

一般会計では、6月の集中豪雨による農林・土木災害等の復旧関係に10億1、354万円、寺町岡篠尾線ほか1線の道路改良事業に1億5、187万6千円など13億8、481万5千円を補正し、補正後の総額を294億た。特別会計は国民健康保険事業会計など3会計

で3億7、350万3千円を補正、今回補正後の全会計の総額を618億8、326万4千円とした。

◆条例

「福知山市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例」を新設したほか、下水道条例など4条例の一部改正を行つた。



新政会

井上 森田	重典
塙見 泰治	仁
松本 加藤	良彦
田淵 弘道	司正

(9月定例会)

厚生会館の整備について

問 平成10年度に100万円の調査費が計上されたが、調査に基づく整備計画はいつ頃か。

答 耐震関係を含めると調査項目も多く、相当な費用が必要になるが、12年度から着手していきたい。

問 少子化対策臨時特例交付金の活用は。

答 対象事業については協議調整中で、貴重な財源であり一層の推進をはかるため活用していきたい。

農政問題について

問 新農基法の基本理念にのっとった本市の施策は。

答 主食は米である。農産物の輸入などあるが、米を食べてもらうことが基本だ。福知山にも小豆・きゅうり・伏見とうがらしなど特産物があるが、三和町のぶどうなどの例を考えると、農家には勉強もしてもらい、適地適作の努力が必要である。本市としても、

①食糧の安定供給の確保、②多面的機能の発揮、③農業の持続的発展、④農村の振興、を基本理念に施策を策定する。

問 来年担い手認定農家が更新になるが、担い手確保の面からも、制限年齢を70歳に引き上げる考えは。

商店街の振興について

問 新しい「街づくり三法」を活用した、中心市街地の活性化対策の考えは。

答 現在のままで様子を見る。農村集落排水等生活環境を整備して、若い人が住みつくよう努めている。65歳以上の人のが地域農業の中心となっており検討する。

介護保険について

問 重度と判定されても、特養施設に入所できず待機する場合はどうなるのか。

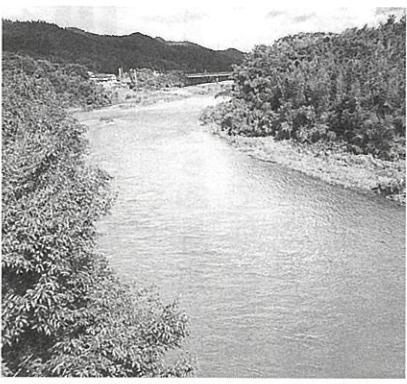
答 在宅サービスを利用していくことになる。

由良川改修について

問 由良川改修の進捗状況と今後の改修計画は。

答 綾部は用地買収がほぼ終了したと聞く。法線は準備中。戸田の集落移転も近く発表されると思うが、まだ発表の段階ではない。

化は予想していない。自主財源が本流で、なりゆきを見守っていく。



▲改修が待たれる由良川(戸田付近)

地方分権について

問 地方分権推進計画による業務の変動と税財源はどうか。

答 国の機関委任事務が市に振り向けられるが、大きな変

問 農道舗装の整備は。

答 牧川改修に伴う十二橋の改修の見通しは。

答 牧川系統の下水道事業の今後の取り組みと見通しは。

問 牧川改修に伴う十二橋の改修の見通しは。

答 石本のポンプ場が来年から運転する。平成13年度基本設計をして、14年度着工で牧川沿いを優先する。

問 牧川改修の活動状況と今後の見通しは。

答 横峰をトンネルで抜くのが目的で、国の直轄を期待して運動している。国の厳しい現状で見通しは立っていない。

生活環境の整備について

問 川口中学校は校舎・体育館とともに老朽化して教育環境は著しく悪い。早期の解決を。

答 現在の場所での建て替えは問題が多い。下水が入ることを目途として考えていく必要がある。

問 上川口保育園も26年余り経過している。保育室・調理室・便所が接近していて、室内にトイレの悪臭が充満している。全面改築を。

答 市の単費をつぎこむこととなるので、いつ建て替えとなるか言えない。国・府に実情を示し将来の計画を立てる。

災害復旧について

問 6月末の集中豪雨災害のうち小規模、不採択となつた災害を市単費事業として取り組む考えは。

国道429号の改修について

問 改修期成同盟会の活動状況と今後の見通しは。

答 毎年3~5地区で1億5千万円程度である。計画的に進めているが厳しい状況にある。

教育環境の整備について

問 厚中間屋町、ガード下付近の浸水対策は。

答 土地がら水がつきやすいので暫定的対策として、ポンプ排水を強化するとか検討は必要。

問 高齢者のための総合福祉施設の建設は。

答 土地がら水がつきやすいので暫定的対策として、ポンプ排水を強化するとか検討は必要。

福祉医療施設について

問 厚中間屋町、ガード下付近の浸水対策は。

答 検討したい。

問 佐賀地区住民の健康を守る医療機関の施設を。

答 必要性は分かるがもっと急を要することがある。

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久



東部地域大型店の出店対策は

問 近隣の商業振興と周辺の交通安全対策を早急に国・府と総合的な取り組みを始めてはどうか。

答 計画は承知しているが事前協議がされておらず、完全には把握していない。国道9号は混雑するし、いろんな問題が出てくるが見守っているのが現状だ。

市同和教育子ども会指導員協議会の運営について

問 市が補助金を出している組織の会計が不明瞭であり、

答 協議会には補助金、助成金のほか自主財源もあるので、慶

答 市同和教育子ども会は20年前に結成され、收支は単年度決算とし、総会で承認を得ている。

問 予算科目で慶弔費はなく市担当職員と指導員に出すのは事業の目的達成には関係ないのでは。

答 協議会には補助金、助成金のほか自主財源もあるので、慶

弔費を出しても不適当ではない。

問 市担当課の都合のよい者はだけで会計監査され、他の者は締め出している。総会の案内もない。

答 全員に案内をしており欠席者は委任状で議事を進めている。

福知山市地域防災訓練について

問 地元行事や稻刈りなどと重なり、参加できなくて残念と聞くが。



▲住民参加で行われた防災訓練

答 市民の参加を得られるので曜日にした。良かったと思う。

介護保険に万全の備えを

問 介護保険がスタートすれば福知山市の財政負担はどれだけ軽減できるのか。またその財源を使って、介護保険以外の福祉サービスを行う考えはないか。

答 市の財源として5,500万円ほど軽減する。元気な高齢者の方々への対策や、介護保険認

定外の方々への対応に使っていく。

問 10月から始まる認定作業で、認定にもれた方々への施策はどうなるのか。

答 国や府の支援を求めながら、自立と認定された方の中で、どうしても介護が必要な方には対応を検討したい。

日本共産党中央会議員団

仲林 藤井 足立 清貴
進子

問 大雨による被害の対策は

答 有料化先にありきとは考えていらない。指定袋の実費をいただきことを有料化と考えている。市民の協力を得ることが前提である。

問 大雨による市内部の冠水について、下水道の抜本的な整備、西川・弘法川の流速を早めるためにも和久川の手前の水路にポンプを設置すべきではないか。また当面の手立てを講じるべきだが。

答 西川については浚渫（しゅんせつ）をしたい。ポンプについても様子をみたい。下水道の抜本的な解決はむずかしい。暫定的な対応を今後検討したい。

答 岸谷池では支えきれない。立体交差事業にあわせた西川の改修が必要。当面、国道9号の側溝を整備し、また、駅周辺区画整理事業で、排水経路を整備したい。

正明寺地域の排水は

問 正明寺地域の宅地開発の影響で、上篠尾地域の宅地が冠水している。早急に排水路を整備する必要があるのではないか。



ゴミ有料化の真意は

問 市長は、来年4月からゴミ収集の有料化を実施すると6月議会で答弁したが、その実施の先送りを表明した。ゴミ収集有料化の真意は何か。また、市民の協力があつてこそ減量化につながり、「ゴミ問題の解決につながるが、市長の見解は。

答 側溝が不完全になつていて、地元の協力を得る中で、何とか弘法川の方へ流したい。

法川排水機場の管理は

問 法川排水機場の管理について、6月末の大雪で、2台のポンプのうち1台が故障して十分稼動していなかつたようだが、実態と、建設省からの委託についてはどうなつてゐるのか。

答 1台のポンプの作動が不良だつた。建設省からは、運転操作について委託を受けている。

土地改良区の選挙運動

問 市から人件費の補助金を受けている改良区が、市役所内舍内で自民党的な党費を徴収する活動をしているが、道義的な問題はないのか。

答 適正に処理されている。

文化活動を支援する施設整備を

問 文化芸術会館の建設は多くの市民の願い。当面、市民会館や厚生会館の整備をすべきだ。

答 ブルの整備は検討したい。

厚生会館の整備は、今年度中には検討を終えたい。

花いっぱい運動について

問 ボランティアで市内各所のプランターなどを世話をされている方々への支援は。

答 ボランティアの育成は大切。このような輪を広げていきたい。

農業振興について

問 コメの計画出荷分以上の超過分については、1俵がラーメン1杯分にしかならない。このような状況に対しても市長は国に対し意見を言うべきだが。また特産の小豆の扱いは。

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

チャイルドシートの着用について

答 9月1日現在4,533人、3,337世帯。このうち1,0

問 来年4月よりチャイルドシートの着用が義務づけられる。対象となる6歳未満の人数と世帯数は。また、シートの効果は明らかだが。

答 市民会館の座席にあるテー

答 輸入米は政治的に仕方がない。余ったコメは政府が考へてもらわないといけない。小豆の取り扱いは従来通り。

少子化対策について

問 少子化対策臨時特例交付金が支給されることになった

が、市内で自主的に行われている学童保育への助成や、市民病院内に病児保育所を設置するなど、有効に活用すべきだが。

答 事業内容は検討中。校庭開放、市民病院の保育所、病児保育について、将来的な問題と

して検討したい。

障害者スポーツの振興と支援（競技用車イスの購入について）

問 スポーツは障害者にとってリハビリや励みとなる。しかし施設と用具が必要だ。市で競技用車イスを配備しては。

答 障害者スポーツは卓球バレー・陸上・水泳が府大会として開催、全国大会にも出場と聞く。車イス駅伝は先日丹波町で開催、福知山が初優勝し非常に喜ばしい。



▲盛んになった車イス駅伝

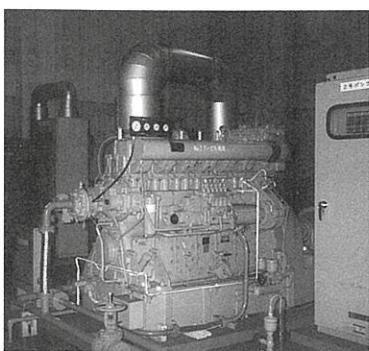
「少子化対策臨時特例交付金」について

問 少子化対策臨時特例交付金の本市への交付額は。

答 1億9,365万3千円が内示額だ。どう使うかは具体的には決めていない。

市民クラブ

芦田 浩廣



▲早期増設が待たれる法川排水ポンプ

法川排水機場にポンプの増設を

答 お城下の法川排水機場は当初

からポンプ3基を設置する計
画だが現在2基だ。市の考えは。

答 明るいニュースで「福知山」
を全国に発信することがで
きた。経済波及効果もあった。市
としても寄付金を出す必要があ
る。甲子園出場は今後も十分考え
られ、そういうなれば非常にいい。

問 福商の甲子園出場は福知山
人に大きな夢と希望、誇りを
与えてくれた。支援と波及効果は。

福政会

片山 荒木 照雄
大武田 治清
芦田 弘夫
野田 勝康

福商甲子園出場について

答 建設省も予算が厳しいだろ
うが、残る1基も設置要望
する。

大雨による浸水被害について

問 6月末豪雨による市内の浸
水状況は。

答 下水道は時間雨量40ミリ以
上の雨には対応できない。
市内各地で浸水した。

問 厚中間屋町の浸水対策調査
の結果は。

答 抜本的対策が必要で、膨大
な費用がかかる。現在、暫
定的な対策を検討中だ。

問 消防団員の補償について
答 災害対策本部解散後、災害復
旧作業に就く消防団員の事故
補償や出動証明はできないか。

答 災害終息後の活動は任務で
はない。今後消防団として
協議してもらう必要がある。

福政会

片山 荒木 照雄
大武田 治清
芦田 弘夫
野田 勝康

防災対策について

問 鹿の生息密度を平成12年度末
までに半減する計画の内容は。

答 京都府ではメス鹿の狩猟解
禁等により、現在の推定生
息密度1平方キロメートル当たり
9から13頭を、平成12年度中に半
減させると言う管理目標を立て
いる。本市においてもこの目標に
従い有害鳥獣駆除を実施し、計画
達成に努力している。

問 地震防災緊急事業5カ年計
画の達成状況は。

答 作業道の災害復旧については、
これまで地元の対応でお願い
をしているので、市から助成をする
ということは考えていない。

問 地震防災緊急事業5カ年計
画の達成状況は。

答 平成9年度から府の事業を
導入して現在3基設置して
いる。10年度は鹿7頭と猪4頭捕
獲した。



▲トタン、電気柵などで
防護される田

問 捕獲柵の設置状況と捕獲頭
数は。

答 平成9年度から府の事業を
導入して現在3基設置して
いる。10年度は鹿7頭と猪4頭捕
獲した。

答 小中学校の改築は、上川口
小学校を10年度改築し、上
豊富小学校を11年度で改築してい
る。非木造校舎の補強については
来年度になんとかしたい。福祉施
設については厚生省の社会福祉施
設整備補助金で、平成10年度に対
応を済ませている。消防について
は防火水槽や小型動力ポンプの設
置、救急業務高度化の資材機器の
整備事業や、緊急通信指令施設の
整備などを行った。

防災工事等資金融資要綱について

問 融資金額・金利の見直しについての考えは。また、利用者は何人か。

答 融資金額については今後検討するが、金利については適当な範囲と考えている。また、現在のところ利用者はない。

余暇活動による市民の体力増進について

問 市民の体力増強をはかるためにトランポリンを活用してはどうか。

答 教室などを実施していたが参加者が少くなり中止した。水曜日と土曜日はクラブが活用している。

ゆとり、充実する教育をめざして

問 来年1月から祝日三連休化法が施行されるが、休日を振り替えることについてどのように検討されているのか。また、専科教員の配置について中丹教育局管内ではどの小学校が指定校とされ

ているのか。また、その理由は。

答 各学校に違いが生じぬよう十分検討していきたい。下六人部小学校が指定校であり音楽について実施している。5～6年生が各学年2クラスなのでちょうど良いケースとして実施した。

ペットボトルの回収について

問 ペットボトルは資源として再生をはかることができるゴミである。ゴミの量を減らし埋立て処分場の延命化のために、ペットボトルの分別回収に着手するなど、リサイクルの効果を高める施策を推進していく考えは。

答 リサイクル施設や分別回収などを早期に実施し、埋立地の延命化をはかりたい。

常任委員会の審査から

■総務委員会

提案された議案のうち、市税還付の補正3、950万円は、当初約1、500万円を見込んでいたところが施行され、休日を振り替えることについてどのように検討されているのか。また、専科教員の配置について中丹教育局管内ではどの小学校が指定校とされ

が、長びく景気の低迷による、企業の業績悪化に加え、旧国鉄年金負担による収支悪化という特殊事情が大きな要因。固定資産税評価審査会条例の一部改正は、現行では審査申出期間は4月1日から30日まで、改正後は4月1日から6月中旬までとなる。実際の審査請求は、平成9年に6名から29件の申出があり、うち4件が容認された。書面審理原則が明確化された。書類から文書に慣れない市民への細かい配慮を求める意見があつた。

■市民厚生委員会

審議した議案で、一般会計補正予算は、衛生管理費の、狭小な野家の公衆トイレ改修費。埋立処分場管理道路の復旧工事費。さらに国民健康保険事業特別会計補正予算で、前年度決算確定による剩余额の基金繰入れおよび療養給付費の返還経費。また、福知山市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例制定。

国のホームヘルプサービス事業費用負担基準の改正に伴い、派遣手数料をG階層で一時間当たり940円を10円アップして950円とする。

一般会計補正予算について委員会

から事業制度や内容、補正額や補助率について質疑し、今回の補正是災害復旧が中心で、災害復旧事業の採択要件、特別な補助制度や細かい規定の説明を受け早急な対応の必要性を確認した。ほ場整備の必要性を確認した。

工前に地域測量がなされているのになぜ面積の増減が生じるのかの質疑に、国土調査の図面で計画図を作成するとともに、道路水路は延長が長く曲折しているので少々の面積変化が生じるとの答弁があつた。他に下水道事業特別会計補正予算、下水道条例の一部を改正する条例の制定、土地改良事業の変更について審査した。

■文教建設委員会

今回提案された一般会計補正予算の主なものは、6月末の集中豪雨による災害復旧のため、福知山城公園法面および、市道三ツ石線の復旧工事費をはじめ道路87件、河川99件、さらに、川口コミセングランド法面の復旧工事の費用で、いずれも緊急を要する事業。また、国の予算額の内示により、市道広小路勅使線および市道荒木神社堀線の道路新設改良事業、都市計画街路の厚木内線・寺町岡篠尾線などの用地取得および補償費など、さらに牧川改修に伴う樋門管理の地元自治会への委託費用が主な内

議会日誌 [8月～10月]

〔8月〕

2日	北部四市議会事務局長・次長会議（宮津市）
3日	一市三町議会議長会（福知山市）
4日	各派幹事会
5日	非核宣言自治体全国大会（広島）
6日	原爆死没者慰靈式・平和祈念式（広島）
10日	議会運営委員会（由良川沿川市町議会関係委員会要望（建設省ほか、→11日）
12日	北部四市議会連絡協議会（舞鶴市）
17日	全国市議会議長会基地協議会近畿支部総会（舞鶴市）
23日	議員研修会（中丹勤労者福祉会館）、各派幹事会
26日	議会運営委員会行政視察（→25日）
24日	静岡県湖西市議会視察来市

1日	議会運営委員会
3日	各派幹事会、全議員協議会
8日	定例会開会 提案理由説明
17日	本会議（質疑、一般質問）
20日	本会議（一般質問）
21日	本会議（一般質問）、各派幹事会
22日	各常任委員会、議会だより編集委員会
24日	議会運営委員会、議会だより編集委員会
29日	議会運営委員会、同対策特別委員会
28日	山形県上山市議会行政視察来市
24日	本会議（各委員長審査報告、採決）、各派幹事会
21日	議会運営委員会、全議員協議会、議会だより編集委員会

5日	総務・文教建設委員会行政視察（→7日）
6日	経済委員会行政視察（→8日）
12日	鉄道・高架事業特別委員会行政視察（→13日）
13日	栗東・野州・中主・志賀四町正副議長会視察来市
14日	各派幹事会、由良川改修特別委員会、議会だより編集委員会
19日	京都府市議会議長会（京都市）
20日	福岡県大野城市議会視察来市、議会だより編集委員会、有害鳥獣対策要望（府庁）
21日	議会運営委員会、全議員協議会、議員研修会（宮津市）
22日	福岡県穂波町議会視察来市
27日	近畿議長会理事会（京都市）
29日	近畿議長会理事会（京都市）

請願（9月定例会上程分）

【採択したもの】

- ◆舞鶴海洋気象台の陸上予報業務の継続を求める請願
(請願者 気象災害から地域住民を守る会 代表者 本川洋男氏)
- ◆「食料・農業・農村基本法」関連施策の充実を求める決議並びに政府への意見書提出に関する請願 (請願者 食と緑と水を守る京都会議 議長 飛鳥井佳子氏)

【不採択となったもの】

- ◆成仁幼稚園の2年教育制度の実現を求める請願
(請願者 伊藤寛枝氏ほか2名)

【継続審査となったもの】

- ◆老齢年金についての意見書採択にかかる請願
(請願者 全日本年金者組合京都府本部福天支部
支部長 友次義氏)
- ◆介護保険の改善を求める請願
(請願者 福天地域の医療と福祉をよくする会 事務局
長代行 塩見 正氏)
- ◆保育施策の拡充を求める請願
(請願者 日本労働組合総連合会京都府連合会（連合京都） 会長 片山戈一郎、連合京都福知山地区協議会
議長 藤田清志)

9月定例会で提出した意見書

- 舞鶴海洋気象台の陸上業務の継続を求める意見書
 - 「食料・農業・農村基本法」関連施策の充実を求める意見書
 - シカ・イノシシ等の被害対策を求める意見書
- 以上3件の意見書を国・府・関係機関へ提出しました。

編集後記

議会だよりを発行するにあたり、編集委員一同、力を合わせて市民の皆さんに、わかりやすく、見やすいものにと努め、会派所属議員名や各常任委員会の概要などもとり入れました。今後、さらに充実したものとするために努力を続けてまいります。ご愛読いただきますことをお願いいたします。